

市制施行70周年記念

アルフォンス・ミュシャ

ふたつの世界

2024
9/21 SAT - 12/1 SUN

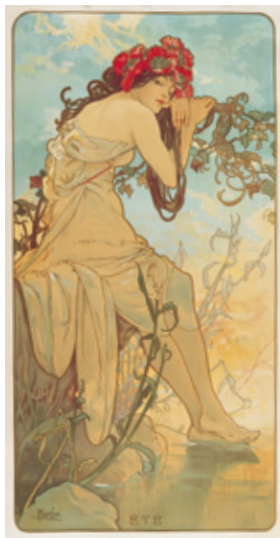


休館日…月曜日(9月23日、10月14日、11月4日は開館)、9月24日(火)、10月1日(火)、10月8日(火)、10月15日(火)、11月5日(火)
開館時間…10時から17時(入場は16時30分まで)
観覧料…一般1,000円(800円)、高校生・大学生500円(400円)、小学生・中学生250円(200円)
一部の作品の展示替えを行います。詳しくはホームページをご覧ください。
*10月12日(土)～14日(月)は市民文化の日無料観覧日のため、当日は混雑が予想されます。混雑時には入場制限を行いますので、あらかじめご了承ください。*内は20名以上の団体割引料金。*前売り券は、9月20日まで府中市美術館、セブンイレブン、ローソン、ミニストップなどで販売します。*未就学児無料、障害者手帳(マイイロ・ID)等をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。*コレクション展もご覧いただけます。
*府中市内の小中学生は「府中子ども学びのパスポート」で無料。*最新の施設情報については、ホームページ、ハローダイヤル等でご確認ください。
主催…府中市美術館 特別協力…大阪中之島美術館、OGATAコレクション、株式会社インテック、堺アルフォンス・ミュシャ館(大阪府堺市)、富山県美術館(50音順)

ALPHONSE
MUCHA

府中市美術館





A



B

A：連作《四季》 紙、リトグラフ サントリーポスターコレクション(大阪中之島美術館寄託)
B：《ハーモニー》 キャンバス、油彩 堺 アルフォンス・ミュシャ館(大阪府堺市) **C**：《夢想》
紙、リトグラフ OGATAコレクション **D**：《ダンス》 紙、リトグラフ 堺 アルフォンス・ミュ
シャ館(大阪府堺市) **E**：《黄道十二宮》下絵 紙、インク 堺 アルフォンス・ミュシャ館(大
阪府堺市) **F**：《黄道十二宮》 紙、リトグラフ 株式会社インテック(富山県美術館寄託)

版画と油彩画——ふたつの世界を見渡す



C

D

クラシックな絵画と最新のデザイン感覚

ミュシャのポスターが、当時の人々の心を捉えたのは、格調の高い伝統絵画の要素に、最新のデザイン感覚を組み合わせた斬新さがあったからです。例えば、人物には的確に陰影を施して立体的に描き、それ以外のモチーフは分かりやすく、平面的にデザイン化しています。さらに人物を太い輪郭線で囲むことで、全体の調和を図っているのです。

創作の過程に迫る

ミュシャの造形の魅力を解き明かすものとして欠かせないのが、下絵です。デッサンを重ね、試行錯誤を繰り返しながら「ミュシャらしさ」を生み出していました。完成作とも比較しながら、ご覧いただきます。



E

F

草花に彩られた女神のような女性と波打つ曲線。19世紀末パリの香りが色濃く漂うアルフォンス・ミュシャの版画は、多くの人の心をつかんできました。さらに、近年、注目の高まるミュシャの油彩画。神秘的で、荘厳な画面は、画家としての奥深さを見せつけます。パリ時代の華やかな版画と、パリを離れた後半生に打ち込んだ油彩画。両者を一つの視点から眺め渡す機会が、これまでほとんどなかったために、まるで別世界のもののように語られてきました。しかしながら、固定観念を取り払い各々の作品に向き合えば、色やかたち、構図の作り方など、絵づくりの要素には、共通点が多いことに気づきます。つまり、版画にも油彩画にも、一目でミュシャと分かる強い個性が、その造形にあふれているのです。さらに言えば、この造形の生み出す力こそが、私たちを惹きつけてやまないミュシャの魅力の核心と言えるでしょう。

本展では、版画の代表作と貴重な大型の油彩画、さらに素描や下絵も合わせて、ミュシャの魅力を余すところなく紹介します。



G

心の世界を見つめる思想

象徴主義は、文学から音楽や美術まで、世紀末のヨーロッパの芸術すべてを包み込むように流行した思想で、表現のあり方そのものを問う革新性がありました。ミュシャの神秘的な油彩画は、象徴主義絵画を代表するものの一つとして知られますが、さらに、軽やかな版画に奥行きを加えたのも、心の世界を見つめようとする、この思想でした。

G：連作《宝石》 紙、リトグラフ 株式会社インテック(富山県美術館寄託) **H**：《モンテカルロ》 紙、リトグラフ サントリーポスターコレクション(大阪中之島美術館寄託)
I：《ボエジー》 キャンバス、油彩 堺 アルフォンス・ミュシャ館(大阪府堺市)



H

I



ミュシャの原点 物語の挿絵 貴重な原画も公開！

ミュシャが初めて手がけた絵の仕事は、本の挿絵でした。画学生時代に奨学金が打ち切れられ、いわば生活のために始めたものでしたが、ミュシャはこの経験を自分の大切な原点と語り、挿絵の仕事を生涯、続けました。

初期の代表作を、貴重な原画と合わせて紹介します。



K

J:『白い象の伝説』下絵 紙、インク、水彩 堺 アルフォンス・ミュシャ館（大阪府堺市） K:『白い象の伝説』書籍 OGATAコレクション L:《クオ・ヴァディス》キャンバス、油彩 堺 アルフォンス・ミュシャ館（大阪府堺市） M:ジャン＝ポール・ローランス《イレヌ》キャンバス、油彩 府中市美術館

ミュシャと 日本の近代洋画

ミュシャが師事した巨匠画家、ローランスとコラン。彼らは、明治時代にパリに留学した日本の洋画家の多くを指導したことで知られます。つまり、ミュシャには日本人の兄弟弟子がたくさんいるのです。さらに、ミュシャから直接指導を受けた洋画家もいました。同時開催のコレクション展では、ミュシャと日本近代洋画の意外なつながりをご覧ください。



M



L

世界的コレクションの名品

ミュシャ人気の高い日本には、質の高いコレクションが数多くあります。特に、ミュシャの実息との深い信頼関係によって築かれたドイ・コレクションは世界的なコレクションで、《ハーモニー》、《クオ・ヴァディス》といった大型の油彩画が含まれています。同コレクションが寄贈された堺市以外では公開機会のほとんどない、この貴重な2点を展示します。

〈関連イベント〉

無料

展覧会講座「アルフォンス・ミュシャ ふたつの世界」 音ゆみ子（府中市美術館学芸員）

2024年10月26日（土）14時～（開場13時30分） 府中市生涯学習センター講堂（府中市美術館より徒歩5分） 予約不要

〈交通案内〉

- 京王線東府中駅北口から
・徒歩17分
・ちゅうバス府中駅行き「府中市美術館」①下車すぐ（8時5分から毎時30分間隔で運行、100円）
- 京王線府中駅からバス
・ちゅうバス多磨町行き「府中市美術館」①下車すぐ（8時から毎時30分間隔で運行、100円）
・武蔵小金井駅南口行き（一本木経由）「天神町二丁目」②下車すぐ
・武蔵小金井駅南口行き（学園通り経由）「天神町幼稚園」③下車徒歩8分
・国分寺駅南口行き（東八道路経由）「天神町幼稚園」④下車徒歩8分
- JR中央線武蔵小金井駅南口からバス
・府中駅行き（一本木経由）「一本木」④下車すぐ
・府中駅行き（学園通り経由）「天神町幼稚園」⑤下車徒歩8分
- JR中央線国分寺駅南口からバス
・府中駅行き（東八道路経由）「天神町幼稚園」⑤下車徒歩8分
- お車の場合は、美術館近くの府中市臨時駐車場（無料、54台収容）をご利用ください。



府中市美術館
Fuchu Art Museum

東京都府中市浅間町1-3
ハローダイヤル 050 (5541) 8600
<https://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/>

表紙上:《目を閉じた少女》キャンバス、油彩 堺 アルフォンス・ミュシャ館(大阪府堺市)
表紙下:《サラ・ベルナール》紙、リトグラフ OGATAコレクション